

【1. 学業面での成果】

10月末から始まったTerm 1Bが1月初旬に終了し、無事全てのコースの単位を取得することができました。その後すぐに始まったTerm 2では自身の専門分野に関する授業が本格的に始まり、毎日充実した日々を過ごしております。

Term 2では、主専攻に『Children and Youth Studies』、副専攻に『Migration and Development』、そして調査方法の『Multimethod Social development Research』の計三科目を履修しています。

主専攻である『Children and Youth Studies』は子供や青少年を取り巻く環境を様々な視点（児童労働、子供の権利、教育環境等）で切り取り、理論に合わせて研究する授業です。中間試験としてそれぞれ自国の教育・子供を取り巻く環境がどのように子供の人格を形成し、更には社会を形成しているかをテーマに発表しました。それぞれの国において子供の立ち位置が異なるようで、例えばベトナムでは勉強に集中することが子供の責任とされていたり、シエラレオネやナイジェリアでは兄弟の世話をすることや働き手の一人として見られています。この位置づけが就学率・学力に影響を及ぼし、その結果教育レベル、労働現場の生産性につながってくると結論付けられました。それぞれの実体験をもとに議論が進められたので説得力があり、自分の主観で見るのではなく、それぞれの文化的背景や価値観を前提に現在の状況を理解する力が養われたと感じています。

また『Migration and Development』では移民統合政策、移民の出身国と受入国の関係性を学んでいます。特に現在オランダが直面している中東・アフリカからの移民・難民問題に焦点を当てられることが多く、学んだことをすぐ実生活の中で考察することができるので、新鮮かつ興味深い授業です。

調査方法の『Multimethod Social development Research』では質的調査と量的調査をどう掛け合わせるかを学ぶ授業で、ここで学んだことが直接修士論文の調査に使われる想定となっています。今学期は質的調査に当たるインタビュー、グループディスカッション、参加型調査等の手法を学び、学生同士で実際に練習しましたが、修士論文での研究に向けて良い練習となりました。

授業と同時進行で修士論文の準備も進めており、忙しい日々ではありますが教授とも密に連携を取り、今後も準備に励みたいと思います。

【2. 受入地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流】

オランダでは昨年の10月からロックダウンが続いており、受け入れロータリークラブの皆様との交流ができていません。ただ、オンラインでできることもあると思いますので、この状況を受け入れ、できることを模索したいと思います。

【3. 直面した課題、問題点等】

学習面では修士論文の計画が目下の課題です。当初は開発途上国へ行き、文化人類学者が行うような地域密着型のフィールドリサーチを計画していましたが、新型コロナウイルスの状況から、渡航が難しいと予測しています。代替案としてオンラインでのインタビューの実施も考えており、今後も担当教授と相談をしつつ最適な調査方法を考えたいと思います。生活面では、政府の行うコロナウイルス対策に対するデモが多発している点です。これらの多くは警察との物理的な衝突もなく、平和に行われていますが、一度だけ暴力的なデモが複数都市で同時に発生しました。また、アジア人差別も何度か経験し、改めて非常時だということ念頭に置き、日々の生活でも気を付けようと思いました。

【4. 今後の課題、目標】

今後の目標は3つあります。一つ目は、修士論文の執筆です。Term 3が7月に終わる予定でそこから修士論文の執筆が始まります。研究計画が新型コロナウイルスの状況に左右されがちですが、どんな状況にも対応できるよう準備を進めたいと思います。二つ目はオランダ語の習得です。先月から週に一度オランダ語の授業を受けており、少しずつ語彙が増えてきました。日常生活においてオランダ語は必要とされていませんが、簡単な会話ができるようになることを目標とし、授業の合間を縫って練習したいと思います。三つ目は受け入れロータリークラブとの交流です。当初クリスマス前には解除される予定だったロックダウンが延長を重ね現在に至ります。このような状況から、受け入れロータリークラブとの交流の予定を立てることができていませんでしたが、カウンセラーの方と相談し、この状況下でできることを先延ばしにせず実行していきたいです。



1. 雪が積もったので近所の森へ散歩に行きました。



2. クラスメイトとアムステルダムへ。



3. 天然のアイススケートに行きました。

※オランダのロックダウンのルールに従い、外出は全て学生寮にて同居するクラスメイトと出かけております。